

ae 桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2019

No.163

平成31年2月19日(年4回発行)

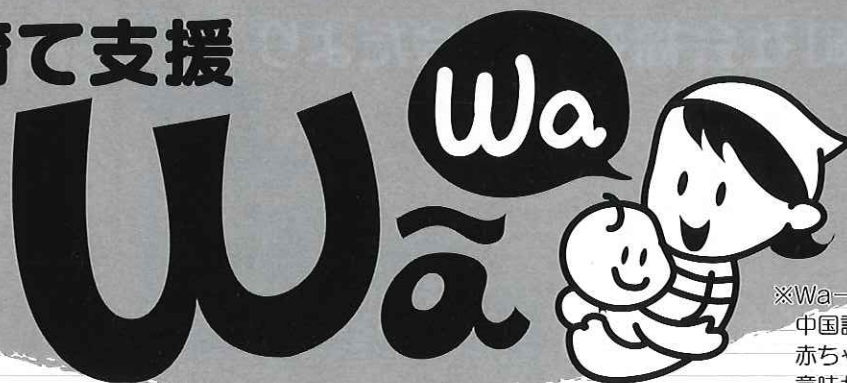
〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555

メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

子どもの笑顔が癒しと活力



子育て支援



※Wa-Wa(ワーワ)とは、中国語やスペイン語で赤ちゃんという意味があります。

託児ボランティアの団体です。子育て中のお父さんやお母さんが、いきいきと安心して子育てを楽しみ、親子が笑顔になれるようにという思いで活動し、14年になります。

その間、いろいろな子どもたちの成長を見てきました。預けられた当初は大泣きしていた子どもたちが、日に日にスタッフに慣れ、笑顔で寄ってきてくれたり、泣いているお友だちにおもちゃを渡してくれたり、ケンカを

しながら友だち関係をつくったりと…。

スタッフは、20代から80代と幅広く、お姉ちゃんやおばあちゃん代わりをさせてもらっています。そして何よりも、子どもたちの笑顔に癒され、成長に喜びを感じ、みんな生きがいをもって活動しています。

特に資格は必要ありません。子ども好きで一緒に遊んでくれる方、お待ちしております！

団体託児

社協事業、サークル活動、町ガン検診や離乳食教室、講演会などで託児を行います。



個人託児

きょうだい児の行事や参観、病院、買い物、ホッとしたい時などにご利用ください。

事前に登録、予約が必要です。

登録料 500円/人(初回のみ)

利用料 月～金の9時から17時まで 500円/時間

託児場所 桂寿苑や個人宅など相談の上決定

※土日祝日や時間外は要相談

※きょうだい割引有

申込先 社協 ☎65-2271

田中 ☎62-2561



ご利用
ください

リフレッシュ事業

社協からの委託事業です。お子さまをお預かりしている間、日頃できなかった事に、ゆっくり時間を使ってください。今年度は終了しましたが、来年度は月1回行う予定です。



ブックスタート

乳幼児健診と合わせて実施している図書館の事業です。子どもと保護者が絵本をとおり、心ふれあうきっかけ作りとして、絵本の読み聞かせをしています。





を利用して

リフレッシュ事業のことは知っていたのですが、託児を利用しなければいけない程困ったこともなかったの、利用をしたことがありませんでした。友だちに誘われたのが利用のきっかけです。

スタッフがたくさんおられ、トイレトレーニング中でも気にかけてくれます。子どもも楽しそうに過ごしている姿に安心しました。

私も普段なかなか行けない美容室に行ったり、ランチに行ったりと、3時間をゆっくりと過

ごすことができ、100円という低価格も助かります。事業の名前どおり「リフレッシュ」することで、子どもにもゆとりを持ち接することができているように感じます。親子にとっても良い時間で、ありがたいです。

育児は大変でストレスもたまりがちですが、一人で抱え込まないことが大切です。ぜひリフレッシュ事業や個人託児を利用してみてください。



穂坂 優／真那斗



内田美和子／桜絢

私は、2年前に桂川町へ引越しをしてきました。

最初にWa-Waを利用したのは、個人託児だったように思います。健康診断や歯医者通院のために利用しました。その後、3時間100円という驚きの「リフレッシュ事業」のことを知り、いつも利用させていただいています。

初めの頃は、泣いたりぐずったり大変でしたが、優しいスタッフの皆さんのおかげですぐに慣れ、今では3歳の娘も託児を楽

しみにしています。

以前住んでいた町では、ファミリーサポートセンターという500円/時間で利用できるシステムがありましたが、3時間100円という、主婦にとってはとてもありがたい事業です。ぜひ子育て中のお母さん方に利用していただければ良いと思います。

娘もお友達ができ、一緒に遊んだりお弁当を食べたり、4月から幼稚園に行く前の準備ができ、親子共々感謝の気持ちでいっぱいです。

子育て支援グループ『トライアングル』が生まれ変わります

『トライアングル』は平成9年に誕生し、22年が経ちます。未就学の子どもと自宅でご一緒しているお母さんが会員の条件となっていたので、一定期間を会で過ごす卒業を迎えます。この間、多くの会員が子どもと一緒に、または託児に預けての活動を続けてきました。孤立しがちな子育てですが、同じ境遇のママたちと相談や情報を共有することで、心に余裕をもつことができます。

新たな会員の発掘となるように、社協からの委託事業「手作りいろいろ教室」を毎年開催してきました。参加費1,000円で5回の託児付講座とあり、子育て中の方に大人気でした。しかし、桂川町でも多くの子育て支援の取り組みが始まり、講座には参加しても、会員までには至らず、だんだんと会員の減少が目立つようになりました。

先代築かれてきた会がこのまま消滅してしまうと寂しいものがあり、現在の会員で話し合った結果、条件を

見直し、子育て中の方ならどなたでも入れるようにしました。また、働いていても参加しやすいように、活動内容も再検討しました。生まれ変わる『トライアングル』に関心のある方は、ぜひお問い合わせください。



平成12年に当時のメンバーが中心となり、540個の牛乳パックで製作された滑り台。代々のメンバーが修繕し、15年間もたくさんの子どもたちを喜ばせてきました。トライアングルの形態は変わっても、思いは大切に引き継いでいきます。

たすけあい桂川講習会

年末の大掃除に役立てることと、たすけあい桂川をもっと知っていただくことを目的に実施しました。両日とも会員以外の参加もあり、好評な講習会となりました。

網戸の張替

長年網戸の張替の仕事をされていた、たすけあい桂川会員の神崎博子さんから指導していただきました。皆さん網を張り、溝にロープを埋め込むという、意外にも単純な作業に驚かれていましたが、実際挑戦してみると、力の入れ加減などコツをつかむまでは、なかなか大変そうでした。この講習会を機に「自分で張り替えてみよう。とても参考になった。」という感想がありました。

トイレ・窓拭き掃除のコツ

掃除業者のリースキン・サトーさんから、会場施設のトイレやガラス窓を実際に利用しながら教わりました。材質や用途によって使用する洗剤を変えることや、窓に残ったテープやシールは、カッターの刃を使うとよいことなどのちょっとした工夫は「目からウロコ。さっそく役立てたい」と、非常に喜ばれました。



ふれあいのつどい

桂川町障害者関係連絡会は、障害者施設や団体の集まりです。

「ふれあいのつどい」は、障がいを持つ人と持たない人との交流があたりまえとなることを目指し、例年長谷山登山を行ってきましたが、今年は「弥山岳登山と簡単なスポーツ」に変更しました。

11月23日は、絶好の登山日和となり、137名の参加がありました。登山はグループ毎にそれぞれのペースで頂上を目指し下山。その間、登山をしないう方は、ゆのうら体験の杜で、スポーツ推進委員による「卓球バレー」や「古代つぶて投げ」の対抗戦で盛り上がりしました。その後、全員でカレーを食べ、クジ引き、参加者紹介などで交流を深めました。

初めての試みでしたが、「また来年も参加したい!」「次は登山をしてみたい!」などと楽しめたようです。今回参加できなかった方も、次回はぜひお待ちしております。



国際料理に挑戦

1月31日、南米料理教室を開催しました。

講師の小林ベティ和恵さんは、南米のボリビアで生まれ、15歳まで過ごされています。

皆さん初めて作る珍しい「ロクロ(南米そうすい)」や「エンパナーダ(チーズ入巨大揚げぎょうざ)」などの出来上がりに、「ドキドキワクワクした。」「具材のアレンジができる料理で、勉強になった。」「身近な材料で簡単にでき、何よりも美味しくて驚いた。」と、とても満足されていました。

また、ボリビアをもっと身近に感じてもらいたいと、写真のスライドで、移民の歴史や生活の様子、魅力をたくさん伝えてくださり、異文化にふれるよい機会となりました。

関心がある方は、当日の献立をお渡しします。出前教室も行いますので、社協にご相談ください。



サロン「ほっとスペース」

誰もが気軽に立ち寄れ、ほっとする場として、いきいきセンター桂寿苑を開放しています。

皆さんは、手芸や工作、編み物やかご作り、読書など、思い思いのことをされています。時には、他の方が作っている物を見て「あ～、これ素敵ね。今度教えてほしい!」という声に、私も私もと、興味を持った方が習い、お互いに特技を広めておられます。

不定期に、そば打ちや食事会、ハンドマッサージのイベントを開催しており、参加者は積極的に準備や片付けの協力をしてください。サロンの日が楽しみ!「ここに来てみんなと話すのが健康の源」などの声を聞きます。

初めて立ち寄ることに不安かもしれませんが、ぜひ一度のぞきにきてください。きっと皆さんが温かく歓迎して下さいます。また、男性の皆さんも、友だちと囲碁や将棋を楽しみませんか!!



楽器のつながり

～ボリビアの子どもたちから桂川町に手紙が届く～



三春ロータリークラブ（福島県）は、使わなくなったリコーダーやピアノを集め、音の確認や洗浄などの整備をし、楽器が買えない南米ボリビアの子どもたちに贈る活動を行っています。

桂川町社協でも、情報紙や中学校などに呼びかけて集め、クラブに贈ってきました。

今回、サンタフェの学校（サンファン日本人移住地の隣町）で行われた引き渡し式の様子や、子どもたちからの手紙が届きました。

この学校には日系人は一人もいない中、日本語に挑戦し、どれもすてきな絵と日本語で、一生懸命にお礼を伝えようとする気持ちが伝わり、心温まるものばかりです。

使わなくなった楽器が、遠い海外で喜んで活用されている“つながり”を感じ、一部ですが紹介させていただきます。

今後も活動は継続されますので、皆様のご協力をお願いします。



桂川町の皆様にご挨拶いたします

私たち生徒に送っていただいた楽器は、日々奏でることができ、とても価値のあるものです。

Boliviano Italiano校の生徒は、皆様に感謝しております。

「アリガトウ」



親愛なる友人へ

私たち、ボリビアにある Boliviano Italiano校の生徒は、皆様からのプレゼントに感謝しています。

皆様のことをいつもお祈りしています。

ありがとうございます。

平成30年度

共同募金ご協力企業等名

（1月末日現在）
順不同

法人募金協力企業

(株)さんぐん	魚城
(株)麻生飯塚ゴルフ倶楽部	(有)圓屋食品
猪俣歯科医院	酒のラック
内田外科内科医院	(有)福岡設備
追立衣料品店	青柳食品
大村内科医院	(有)伊藤産業
(株)エフィ石灰工業所	(有)ギフトセンター山城
(株)オリオンガス	(有)矢次衛生
(株)福岡タルク工業所	(有)リースキン・サトー
(有)きど葬祭 やまさ桂川斎場	吉貝自動車整備工場
善光会館 桂川会場	よしな洋品店
総合開発企業組合	(株)光製作所
谷口住設	(株)玉置
中嶋駐車場	今心(株)
ながはた	大塚武文歯科医院
エヌティ工業(株)	からあげ屋
福岡観光バス(株)	やますい

さかなや月
小路石油(株)
中村産業（スーパーなかむら）
桂川町建設業組合
飯塚信用金庫筑穂桂川支店
くぼた企画事務所
石田病院
フェイシャルサロン オールドローズ
呑風
(株)シモカワ通信
ヨシタケTS(株)



職域募金協力団体

桂川町区長会
桂川町民生児童委員協議会
福岡嘉穂農協桂川支所
桂川小学校
桂川東小学校
桂川中学校
嘉穂総合高校
桂川町役場
桂川町ボランティア連絡協議会
桂川町老人クラブ連合会
明日香園
白藤の苑
ひなの家
桂川町学童保育所
桂川町社会福祉協議会



—ご寄付ありがとうございました—



さくら園では、12月28日に毎年恒例のもちつきを行いました。当日は天気もよく、暖かい日差しの中で行うことができました。

もちつき

介護老人保健施設
さくら園
嘉穂郡桂川町大字土居877
☎0948-65-5550 Fax 0948-65-5595

職員がもちをつき始めると、利用者から「よいしょ、よいしょ」と大きな掛け声上がり、職員の手にも力が入りました。次に、希望される利用者にも、もちをついていただきました。見ている皆さんも、さらに大きな掛け声をかけてくださり、力強いもちつきに、私たちも元気をいただきました。

つき上がったもちは、きな粉、あんこ、大根おろしといろんな味を楽しんでいただき「おいしい」と多くの笑顔に、私たちもたくさん笑顔と元気をいただいた一日でした。

支援相談員 古藤 受



もちつき

新年あけましておめでとございます。昨年12月28日、毎年恒例のもちつきを行いました。天候に恵まれ、入苑者の方達も職員に負けじと、力強くもちつきをされていました。

また、手慣れた手つきで、上手におもちを丸め、笑顔も多く見られました。白藤の苑のもちつきは、入苑者に美味しく安全に召し上がっていただくために、もち麦を使用しています。

もちつき終了後、昼食でおろしもちを美味しく召し上がっていました。本年もいろいろな行事、地域の

白藤の苑

嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
☎0948-65-4141
Fax 0948-65-4169



方達との交流を通じて、入苑者の方達が楽しんでいただけるように、頑張っています。本年も白藤の苑をよりよくお願い致します。

生活相談員
栗根 信治



お知らせ

評議員変更

12月26日付で、下記のとおり評議員が変更になりました。(敬称略)

新	旧	選出母体
石田 英喜	深見 秀人	桂川小・桂川東小・桂川中
松尾 忠介	松岡 香織	学識経験者
中嶋 政信	木村 廣明	消防団

福祉のしごと就職フェア2019 in FUKUOKA

日 時 平成31年3月9日(土)
11時～16時
会 場 クローバープラザ(春日市原町)
内 容 就活応援セミナー 11時～11時50分
就職面談会(170法人予定) 12時～16時
相談コーナー 12時～16時
対 象 社会福祉施設・事業所への就職希望者
(資格・経験は不要)
託 児 生後3か月から就学前まで
※事前予約が必要
問い合わせ 福岡県社会福祉協議会人材・情報課
TEL 092-584-3310

平成30年度 筑豊ブロック市町村社協連絡協議会 公開講演会

昨年、兵庫県で精神疾患を持つ長男を、両親が長年自宅で監禁するという事件が発覚しました。

監禁は、子の人権を踏みこむ行為であり、許されることではありませんが、この事件の背景には、近所に迷惑をかけてはいけないという親の思いや周囲の目や声を気にして、追い詰められる家族の苦悩、障がいや病気に対する様々な偏見があったのではないかと思います。

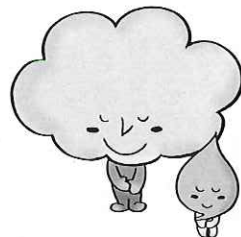
地域には、複合的な課題を抱えながら、生活する方々がいらっしゃいます。地域住民のつながりや助け合いによる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが掲げられる中、困難を抱える家族が孤立することなく、不安や悩みを相談できる体制を地域でどう作っていくのかを、みなさんと一緒に考えたいと思います。

日 時 平成31年3月8日(金)
13時30分～15時 (受付13時)
場 所 桂川町住民センター 会議室
講 師 飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター
藤嶋 勇治 さん
テーマ 誰もが安心して暮らせる地域を目指して
～この事件が問いかけているものは何なのか～
参加費 無料

香典返し(寄付金)

平成30年11月1日～平成31年1月31日

ありがとうございます
ご協力ありがとうございました



●土居二 藤川スエ子様(故夫喜久男様)
●土居三 河村 龍夫様(故母 晴江様)
●吉隈一 津野 弘子様(故夫 一幸様)
●寿命 中村美智子様(故夫 大明様)
●豆田 安藤 敦子様(故夫 和文様)
●貴船 和田 英敏様
(故義弟 三上和憲様)
●土師二 筒井伊都子様(故夫 国敏様)
伊藤 育子様(故夫 秀雄様)
山本サヨ子様(故夫 正憲様)
●土師一 野上 益良様(故母 愛子様)
●土師三 平井文三郎様(故妻 主子様)
●土師五 芳中 洋子様
(故兄 藤川正恭様)
●土師六 松村 正治様(故母アサ子様)
●笹尾一 齊藤 裕様(故母 敏子様)
●吉隈一 原中 政道様(古希祝い)
一般寄付金
寄付金合計 258,000円

そのおもちゃ 捨てるの待った!!

おもちゃの

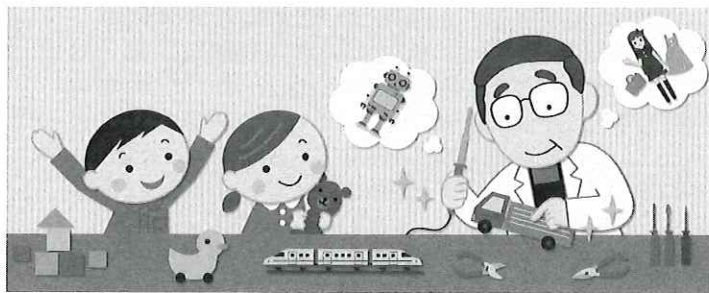
びょういん
病院

皆さんの家に、動かなくなったり、チョット調子が悪くなり、「もう捨てようかな…」と思っているおもちゃ。また、動かないけれど思い出深く、なかなか手放すことができないおもちゃがありませんか?

処分する前に、一度「おもちゃの病院」を受診してみましょう。お医者さんが診察し、あきらめかけていたおもちゃを元気にしてくれます。ぜひご利用ください。

場 所 桂川町社会福祉協議会(いきいきセンター桂寿苑)
時 間 9時～17時(土・日・祝日除く)
費 用 無料(部品代などの実費は各自負担)

※部品がなくなった物などは、修理ができない場合もあり、必ず直るとは限りません。また、テレビゲームなどの電子機器のおもちゃは、修理できません。



599部 カレンダー収集 ご協力ありがとうございました

昨年、2019年カレンダーの募集をしたところ、今回も山田団扇堂さんのご協力もあり、599部集まりました。民生児童委員を通じて地域の高齢者へ配布、また、桂寿苑やひまわりの里、役場の来客者にもお配りし、大変喜ばれました。来年も継続していきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

問合先 桂川町社会福祉協議会(いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

このひとに聞きました

すみ やちよ
角 八千代さん

プロフィール

◎年齢 72歳
◎住所 九郎丸区
◎趣味 難プレ

■聞き手
中野 美智子
小出 悦子

桂寿苑の二室から明るい笑い声が聞こえています。部屋を覗くと照れながら角さんが出迎えてくださいました。角さんは高齢者施設で長年勤務され、10年前に定年退職。現在は地域の活動に参加し、第2の人生を楽しまれています。その中でも一番の楽しみは社協のサロン。角さんは人に喜んでもらうことを第一に仕事をしてこれ、その培った経験や体験を恩返ししたいと、サロンでは誰にでも自然に話しかけ、頼りにされる存在です。

Q1 サロン「ほっとスペース」とは？

週に数回桂寿苑の部屋が開放されます。誰でも参加できる場所、おしゃべりや編み物など、思い思いに過ごしています。来られている方は人生の先輩方ばかりで、料理や漬物など色んなことを教えてくれます。この前はみんなでお揃いのエプロンを作りました。皆さん優しい方ばかりで本当に楽しいです。

Q2 サロンに通うようになったきっかけは？

仕事をしている時は休みなく働いていたので、定年後は少し家でゆつくりしました。そろそろ何かしないといけないなあと思っている時に、サロンのことを知りました。通いだして1年半になりましたが、今ではサロンがない日はさみしいです。

Q3 その他の活動は？

オレンジカフェで体操、ことぶき大学で園芸を習っています。何でもチャレンジしてみる気持ちを大切にしています。

Q4 今後の目標は？

自宅ですっきりしている人に来てほしいです。もつと楽しめるサロンになるように、みんなができることなどを企画していきたい。これから人と関わりを大切にしながら、自分ができるボランティアを探していきたいと思っています。

「人にやさしく自分にきびしく」になりたい

編集後記

その後輩は、工業高校を卒業した年に初々しく入社してきた。36年前の話である。私と彼は長崎の離島に出張した。工事現場で作業をするため滞在は約二年間。当時、離島の娯楽と言えば無人島での魚釣りか、現地の職人さんとの飲み会ぐらいで、若かった二人はそれが退屈でたまらなかった。夏の夜に東海岸の岸壁に座り、「今日は飯塚の花火大会らしい」と話し、見えるはずもない150キロ先を眺めたのが昨日のことのように思い出す。

なにかと苦勞を共にした人間とは、奇妙な連帯感が出るもので、それぞれの道を歩く今でも、その交流は続いている。

その後輩から、年の瀬に電話があった。12年前に切除した癌が再発して余命が宣告されたと言う。病状が進行していたことに、「先輩が心配するといけなから伏せていた」と、まるで他人事のような口ぶりです。こちらの動揺を察したのか、「定期検査をさぼった自分が悪いので」とも語る。さすがに兄弟のような関係の中で、この会話には辛いものが有る。それでも「このまま何もしないのはしゃくにさわるので、辛かったけど強い薬を使うことにしました。また元気になったら対馬に行きましょう」などとこちらが励まされてしまった。



絵：川添 友子
(嘉穂総合高校3年)
タイトル：もがく

島に天然記念物のヒトツバタコが白い花を開花させるのは五月。そのときは、どんなことがあっても島に渡る事を約束して受話器を置いた。

広報部員

私の終活



最近家族の「粉骨」をしました。散骨でも分骨でもありません。納骨堂のスペースが狭くなり、どうしたものかと悩んでいた時、終活セミナーで「粉骨」を知りました。骨を専用機械で細かいパウダー状にすることで容積を減らせ、骨壺以外の容器で納めたり、アクセサリーにして遺族が身につけることができます。



両親と祖母の遺骨を粉骨しました。正直どうなるか不安はありましたが、ジッパー袋に入り戻ってきたものは、意外にも重みはすっきりでしたが、とてもコンパクトなものでした。厚みもないため、並べたり重ねることもでき、納骨堂のスペースを有効に使用できます。

私と娘は更にアレンジしてみようというのと考え、最終的には密封容器に入れ、写真を貼り納めることにしました。この間二人で改めて祖母や両親との思い出、私の考えを話す時間もできました。今後は永代供養についても考えています。



このように私のエンディングノートはポツンポツンとですが埋まっており、元気な今終活することで、これからの人生をより安心して過ごせる気がしています。

白杵 由美子